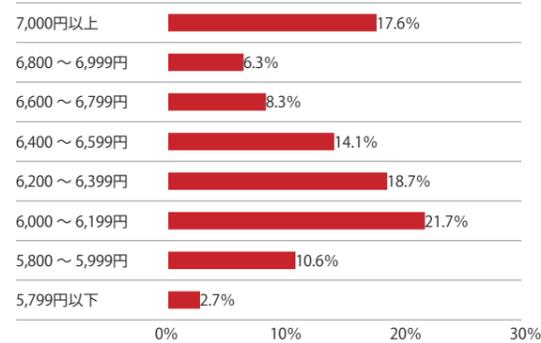


# 全国

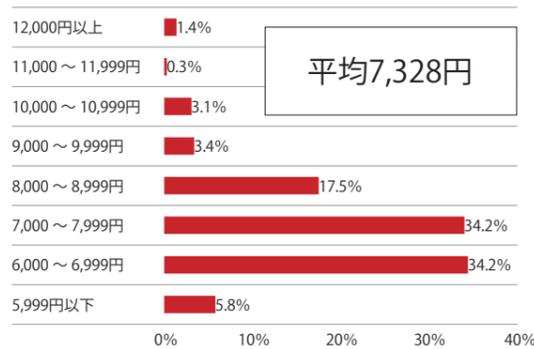
表1 指数対応単価の平均 (円)

回答数	車種	平均	東京海上日動	三井住友海上	あいおいニッセイ同和損保	損保ジャパン日本興亜	ダイレクト系損保	その他 (JA、全労済など)	一般客 (直需)
731	国産車	6,171	6,459	6,454	6,460	6,454	6,501	6,501	6,611
	輸入車	7,190	7,170	7,187	7,167	7,157	7,223	7,235	7,403

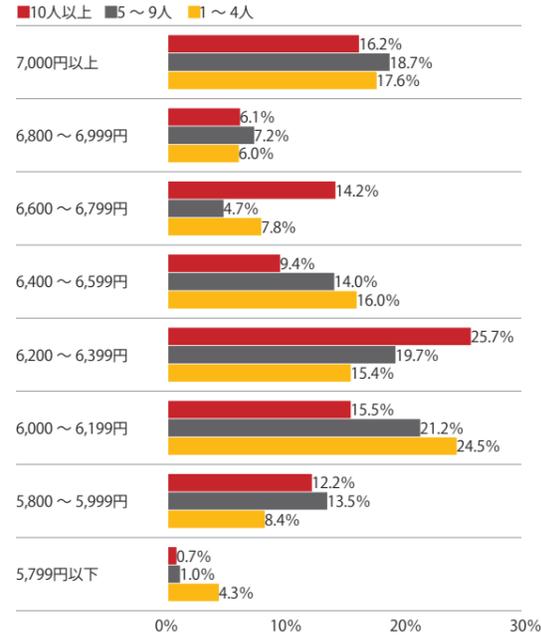
グラフ1 指数対応単価の分布 (国産車)



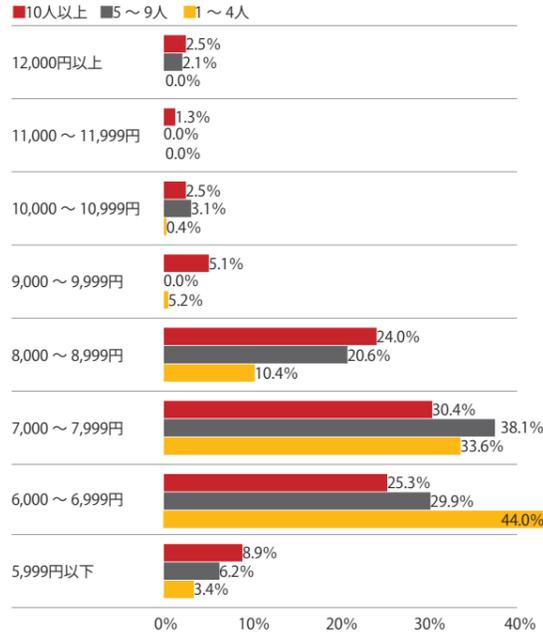
グラフ3 レーバーレートの分布



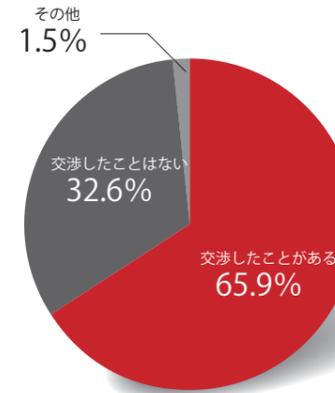
グラフ2 事業規模別指数対応単価の分布 (国産車)



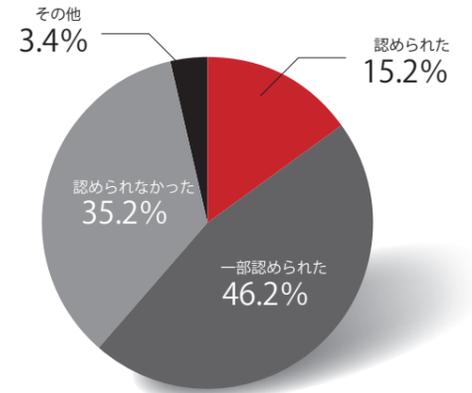
グラフ4 事業規模別レーバーレートの分布 (国産車)



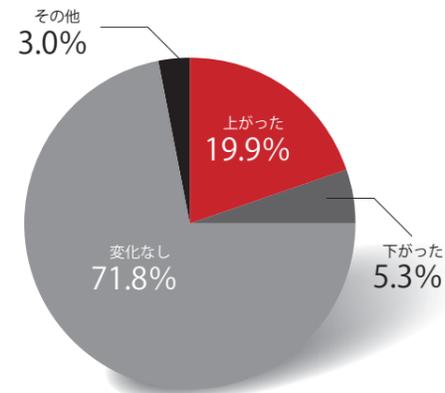
グラフ5 保険会社への指数対応単価の交渉の有無



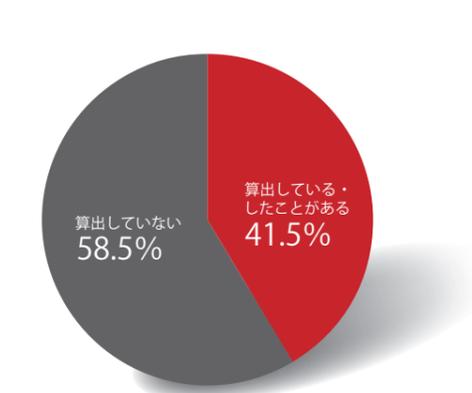
グラフ6 保険会社との交渉の結果



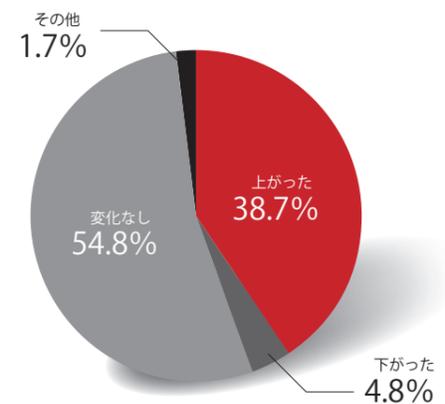
グラフ7 直近における指数対応単価の変化



グラフ8 レーバーレートの算出の有無



グラフ9 直近におけるレーバーレートの変化



全国的にレーバーレートを算出している、もしくはした経験がある工場の割合は4割であり(グラフ8)、その平均は7,328円となった。本誌2019年増刊号で行った調査結果と比較し300円低減していた。

指数対応単価は国産車で平均6,171円。こちらも同調査と比較し損保会社・一般客ともに低下傾向が見られた。しかし、直近における指数対応単価の変化への回答は変化なし・上がったが9割以上を占め(グラフ7)、自由回答には東京海上日動火災保険の値上がりが多く言及されていた。